

コロナウィルス流行熱作戦：この破壊的な 2020 生物兵器 配置の 16 の理由

【訳者注 Greatchain】

SOTN 自身が言うように、こうした詳細な専門家的分析を、信用できないという人々もあるかもしれない。しかし、彼のここに至るまでの分析の実績と、直観力から、彼の意見は素直に傾聴すべきであろう。重要な例として、16 項目の (1) 「One World Government を国家の世界共同体につかませよ (foist)」と教える「権力者たち」の謀略は、我々にとって最も危険な罠になり得る。かりに現在のコロナウィルスが荒れに荒れて、どうすることもできない窮状に陥ったとしよう。我々は(残念ながら)最も知識をもたない国民だから、何か助け舟のようなものを「つかませられ」たら、非常に危ないことになる。

そもそも我々は、SOTN が警告する恐ろしい者たちの存在を、(少なくともメディアからは)一言も聞いたことがなく、実際に知らない人や、疑う人が多数を占めるだろう。だから我々は、いくら SOTN や Dane Wigington のように真剣に警告する人があっても、何もわからず、この邪悪な者たちの、文字通りカモになるということも、十分にありうる。まず、これら権力者は、畏れ多くて名も言えない高貴な人々ではなく、現実に存在するばかりか、我々を取って食う恐ろしい敵だということを知るべきである。

SOTN (State of the Nation)

February 19, 2020



特別ノート：現時点でインターネット空間は、考えられるあらゆる説や仮説、憶測や疑念、議論や反論が、武漢のコロナウィルスの起源や目的について、あふれかえっている。しかしこの時点で、真に問題となるすべては、ただ2つのキー・クエスチョンである：——**誰がそれをやったか？** そして、**彼らはなぜそれをやったのか？** 訊ねうる第3の質問があって、それは大いに発見の道筋を容易くする。**誰の利益になるのか？**——ということ。したがって、この地球的心理作戦の本当の犯罪者は、あらゆる可能性と、顕著な成り行きを鋭く観察することによって、容易く見つけることができる。それは一か月が過ぎるごとに、ますます明らかになっていくだろう。これらの結果や成り行きの多くが、この下に列挙され、そのような「**大規模作戦**」の可能な種類だけを、議論の余地のない犯罪者とするだろう。参照せよ：「9・11、JFK、オクラホマ市、5G、ケムトレール、ワクチンなど、密かにアメリカを支配する者たちが犯人として起訴されるまでは、何事も変わらない」

<http://stateofthenation.co/?p=5363>

最初に、いくつか基本的な事実と、疑いなく演出された、武漢のコロナウィルス流行熱についての、核心のデータポイントを確認しておこう。次のように：——

事実：武漢のコロナウィルスは、WHOによってCOVID-19と同定され、非常に伝染性の高い病気の過程の原因となり、高度に複雑な病原体をもつ微生物である。

事実：この生物操作されたコロナウィルスは、活性化された5Gパワー・グリッドをもつある環境に、それが開放されたとき、更に強力な生物兵器に転換される。これは、特殊なケムトレールが組織的に撒かれたとき、また、人々がインフル・ワクチン接種をずっと受けているとき、また常に存在する工業汚染が呼吸器官を冒しているときでも同じである。

事実：この特殊なコロナウィルスの変種は、技術的に進歩した生物操作能力をもつ実験室で作られ、集団スケールで殺すだけでなく、地球的な流行熱を維持することもできる。

事実：この極端に悪性のコロナウィルスは、中国の武漢で、市が、ある5Gのデモンストレーション地域に指定されたのと同じ年に、開放されたもので、これはジェノサイド（民族抹殺）の意図を示すものである。

事実：このコロナウィルス生物兵器を発射させ、それをうまく隠ぺいするには、国家の役者の非常に強力なグループや、企業や、超国家的施設が、New World Order グローバリストのアジェンダに、賛同していなければならない。

事実：武漢のコロナウィルス流行熱は、異常に熟慮された人口削減計画として、2002年のSARS大流行のときのように、中国に対する以前の、生物テロ攻撃に似た、人種の特異性を狙った生物兵器によって、中国を目標としたものである。

事実：この生物テロ攻撃は、スローモーションの“絶滅レベル”の事件に進展することが十分に考えられ、すでに、グローバル経済への圧倒的な影響が現れていて、中国経済は完全に停止している。

(ソース：「生物操作されたコロナウィルス流行熱：念入りに演出された、グローバルな、ニセ旗、生物テロ作戦が、本物の生物兵器を使って、多数のターゲットを狙い、多数のNWOの目標をもっている」 <http://stateofthenation.co/?p=7249>)

武漢コロナウィルス流行熱の主たる理由：

なぜNew World Order グローバリスト陰謀団が、この異常に複雑な計略を実行したのかについては、実はいくつかの理由がある。

次のリストは、この急に現れた流行熱の主たる目標を説明するもので、したがって、陰で世界を運営している者たちの意図を説明している。下に示された、一つひとつの密かな目標は、新世界秩序アジェンダの進行に、かなりの程度、寄与するものである。

<http://themillenniumreport.com/?s=new+world+order>

武漢コロナウィルス流行熱の実現計画は、2020年を通して毎日、毎時間、実行されているが、真のNWOの動機は、1か月が過ぎるごとに、完全に透明になっていくだろう。グローバリズムは、世界を通じて起こっている、国家主義の政府と愛国主義運動の結果として、進行しつつある。したがってグローバリストは、彼らのグローバル・コントロール・マトリックスの計画達成を加熱し酷使して、時間の損失を埋め合わせるために、コロナウィルス恐慌を作り出している。

地上のあらゆる住人が理解すべき最大に重要なことは、NWO犯罪者たちが、One World Governmentを確立するための定まったタイムラインをもっていて、ちょうど苛酷なヨーロッパ連合のように働くということである。明らかに、コロナウィルスは、中国で、グロ

ーバル統治への推移を容易にするための、さまざまな目的を達成するために、ばら撒かれた。<http://themillenniumreport.com/?s=one+world+government>

実を言えば、ここに続く 16 のグローバリスト目標は、高度に組織化された陰謀計画がなければ達成できないもので、そのバイオテロリズムのオーケストラ的調和は、太陽系全体に対して、深く浸透する結果をもつものである。このような海賊行為のような (Tavistock) 心理作戦が、次には、十分なレベルのつくられた合意を産み出し、そこではあらゆる市民が、One World Government の形成を要求するようになる。

そこでここに、「権力者」(The Powers That Be) が、なぜ武漢のコロナウイルス流行熱を生命操作 (bioengineer) したかのリストをあげるが、決してこれが全部ではない。他の NWO の動機は、ここ数か月後に必ず表面化するであろう。

- (1) One World Government を、国家の世界共同体につかませよ
- (2) エルサレムの運営する地球政府の世界首都としての、イスラエル承認を加速せよ
- (3) 迅速かつ広範な 5G の軍事配置を、地球的に確保せよ
- (4) 強制的ワクチン接種プログラムを世界的に制度化し、コロナウイルス・ワクチンを義務化せよ
- (5) 狂暴なグローバリストの腐敗と犯罪から、人類の目をそらせ
- (6) 第 3 次世界大戦の熱い戦いを煽る環境を作り出し、軍事紛争の引き金を引け
- (7) 地球的経済と金融システムの、統制された解体の口実をでっちあげよ
- (8) 中国におけるジェノサイドと、“絶滅レベル”の事件になりうるグローバルな人口削減を、効果的にせよ
- (9) マインドコントロールされた大衆に、ドラコン的統制を課するために、太陽系文化を通じて、恐怖を作り出せ
- (10) 地球医療暴政に対し、世界保健機関 (WHO) に与えられた国連権力を、拡大し強化せよ
- (11) 中国を強制して、アメリカの経済的要請と貿易政策に従わせよ
- (12) 中国とロシア、及びインドのイラン支持を不能にすることによって、「拡大イスラエル計画」を急がせよ
- (13) 単一のデジタル暗号通貨を通じて、一世界通貨による国際的なキャッシュレス社会を確立せよ
- (14) 全地球人口をコロナウイルスに感染させ、未来の大流行が、ワクチン、5G、ケムトレール、等によって引き起こされるようにせよ
- (15) 株価を暴落させ米経済を崩壊させるブラック・スワン事件によって、トランプの再選に深刻な脅威を与える、ポーズをせよ
- (16) 未来の流行熱の解決としての、「モノのインターネット」の構築を奨励せよ

——以下、原文の約半分は省略